

内容

1.	はじめに.....	1
2.	Windows10 の場合.....	1
3.	Windows11 の場合.....	2
4.	iOS の場合.....	11
5.	Mac OS の場合.....	11
6.	Android OS11 以上の場合.....	13
7.	その他.....	13

1. はじめに

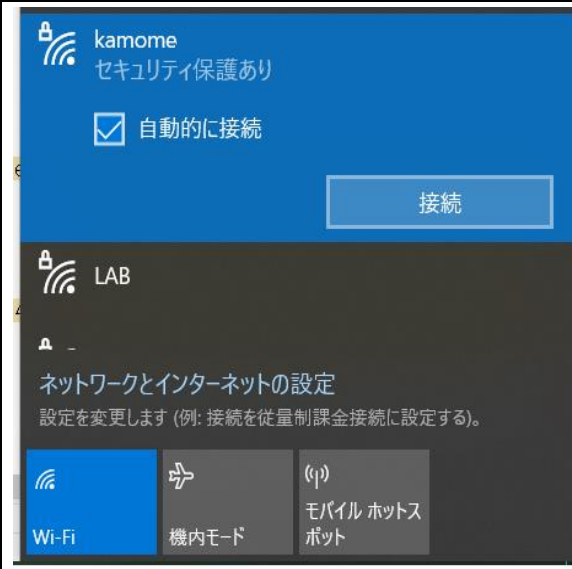
大学関係者は、学内各所に設置されている無線 LAN アクセスポイント (Wi-Fi) を利用できます。

2025年2月25日に大行寺キャンパスにおいてWi-Fi「kamome4」が廃止され、両キャンパスで「kamome」が使えるようになります。

「kamome」は IEEE802.1x 認証により初回接続のみ設定が必要ですが、以後は自動的に接続されます。デバイスごとの接続方法について説明します。

なお、文中に出てくる「ログイン ID」は学籍番号やメールアドレスの@前の部分を指しています。適宜ご自身のものに読み替えてください。

2. Windows10 の場合

	<p>SSID「kamome」を選択し「自動的に接続」にチェックを入れ「接続」ボタンをクリックします。</p>
--	---

	<p>ユーザー名にはログイン ID を パスワードは学内 PC やポータル、WebClass にログインする パスワードを入力し 「OK」 ボタンをクリックします。</p> <p>※「Windows ユーザーアカウントの使用」はチェックなし ※証明書を使って接続する は使用しません</p>
	<p>警告が表示されるのでよく読んだうえで「接続」ボタンを クリックします。</p> <p>これで、Wi-Fi が利用できます。次回以降は Wi-Fi のエリアに 近づくと自動的に接続されます。</p>

3. Windows11 の場合

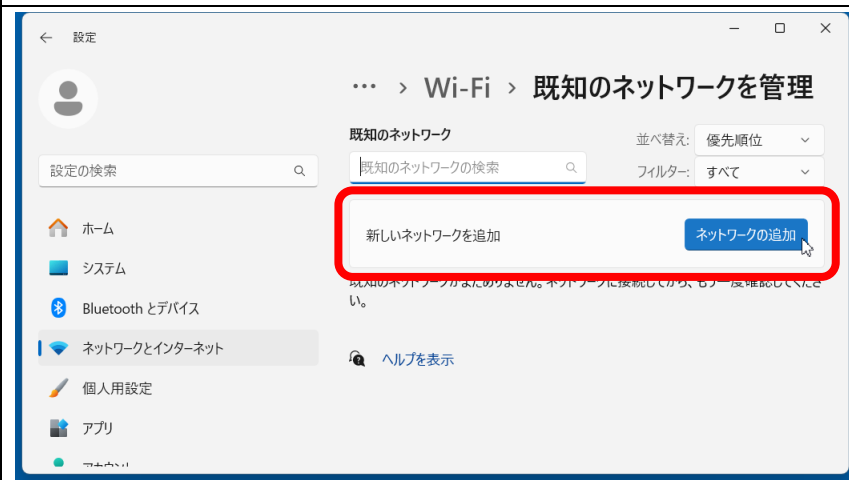
	<p>Windows ボタンをクリックし「設定」を クリックします。</p>
--	--



「ネットワークとインターネット」をクリックし、「Wi-Fi」をクリックします。



「既知のネットワークの管理」をクリックします。



新しいネットワークを追加の「ネットワークの追加」をクリックします。

新しいネットワークを追加

ネットワーク名

kamome

セキュリティの種類

WPA2-エンタープライズ AES

EAP メソッド

保護された EAP (PEAP)

認証方法

セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)

プライベート識別子

これはそのまま変更せずに、プライバシーを保護できるようにしてください。

信頼されたサーバー

+

信頼されたサーバー名の追加

保存

キャンセル

ネットワーク名：kamome

セキュリティの種類：WPA2-エンタープライズ AES

EAP メソッド：保護された EAP (PEAP)

認証方法：セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)

プライベート識別子：空白

信頼されたサーバー以降はデフォルトのまま変更不要です。

「保存」をクリックします。

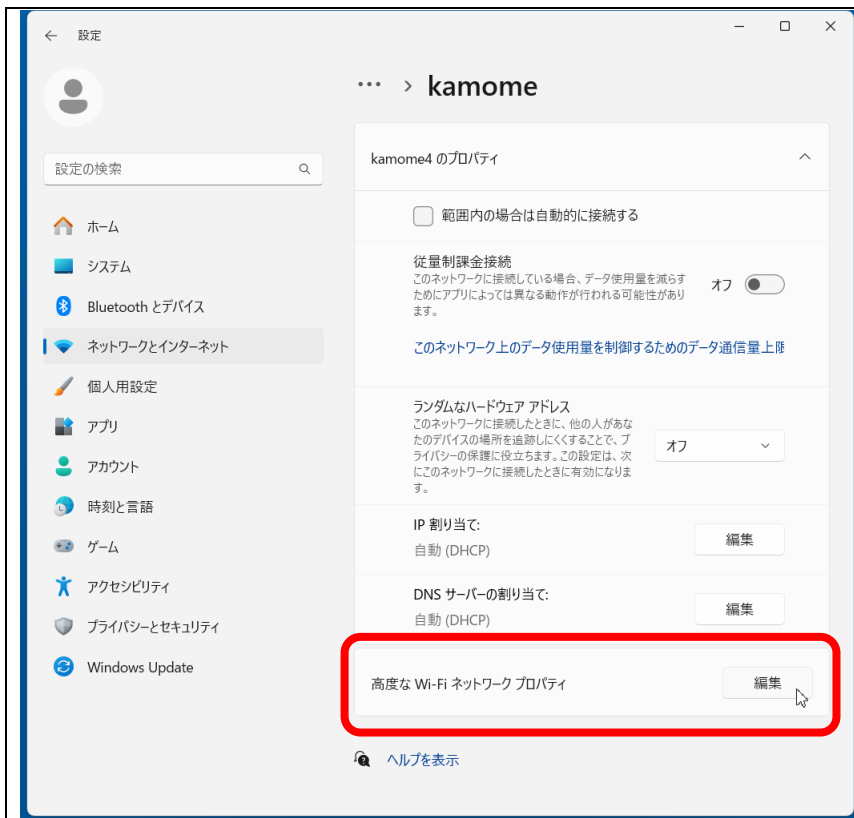
下記項目はチェック不要です。

- ・自動的に接続する
- ・このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する

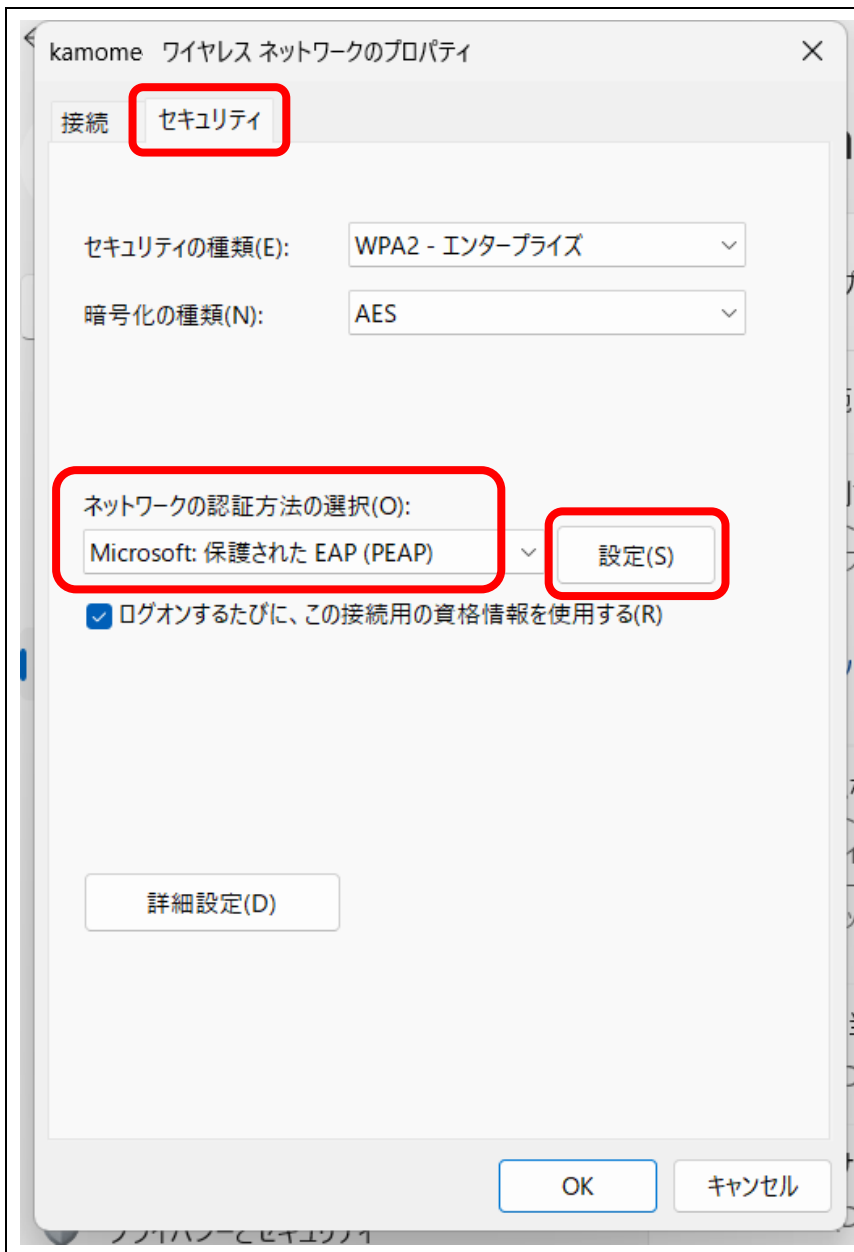


「既知のネットワークを管理」にネットワークが登録されました。

登録したネットワーク「kamome」をクリックします。



kamome のプロパティが表示されます。
「高度な Wi-Fi ネットワークプロパティ」の「編集」をクリックします。

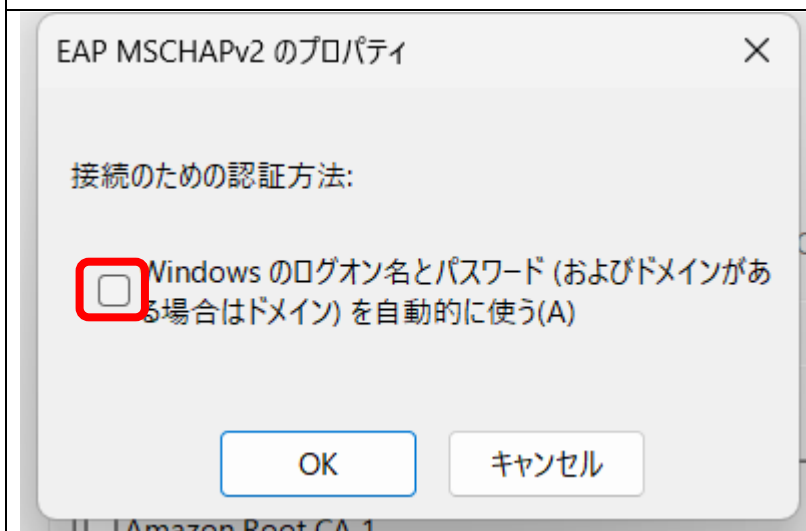


セキュリティタブをクリックし「ネットワークの認証方法の選択」から「Microsoft：保護された EAP(PEAP)」を選択し、「設定」をクリックします。

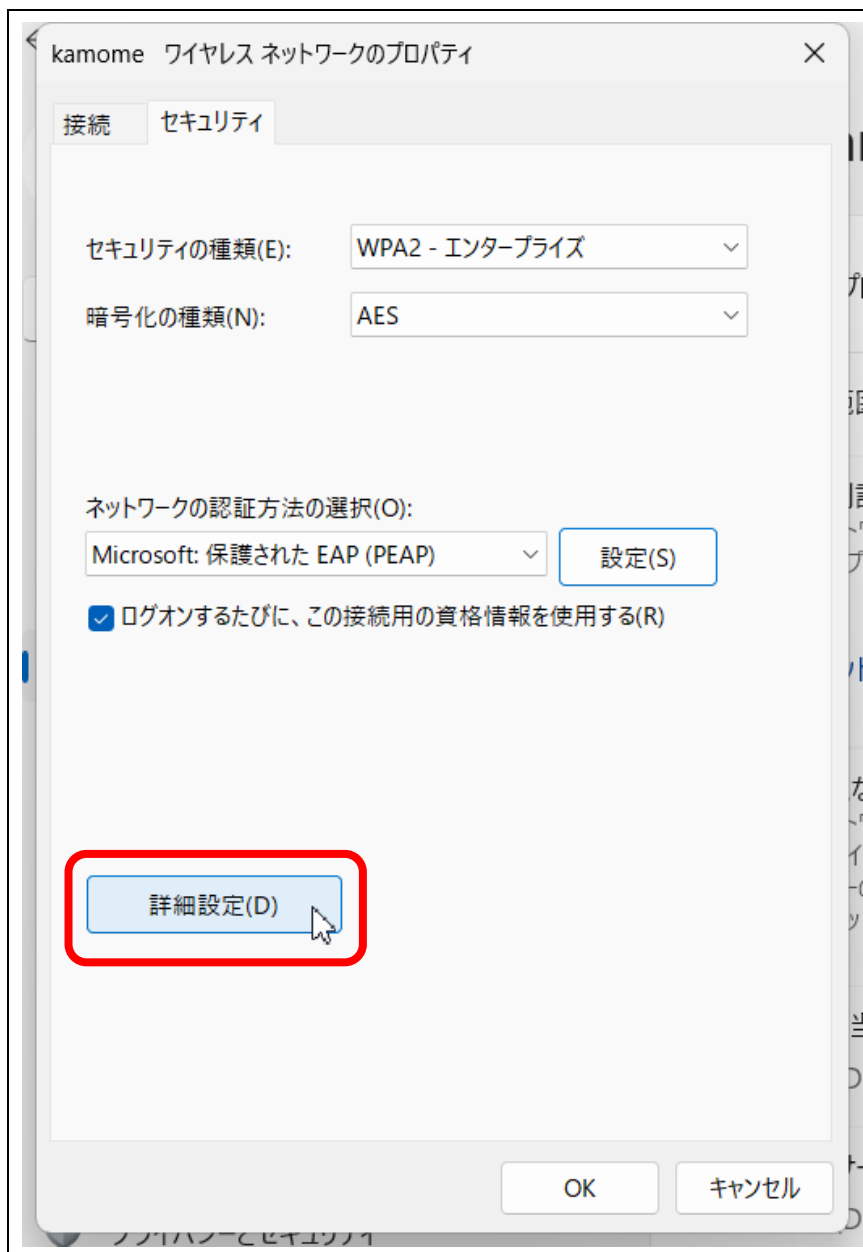


保護された EAP のプロパティが開いたら、「高速再接続を有効にする」以外のチェックをすべて外します。

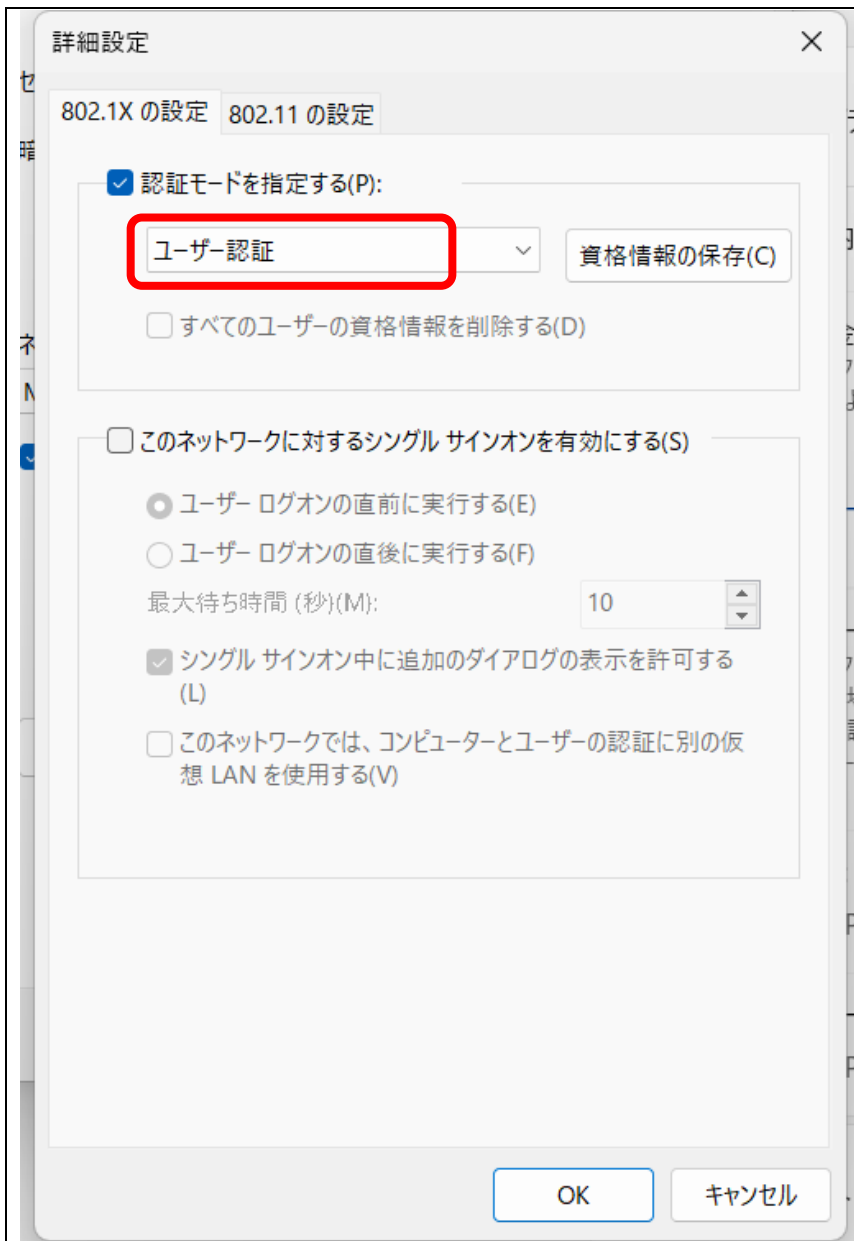
認証方法を選択するでは「セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2)」を選択し「構成」をクリックします。



「Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある場合はドメイン) を自動的に使う」のチェックを外し「OK」をクリックします。

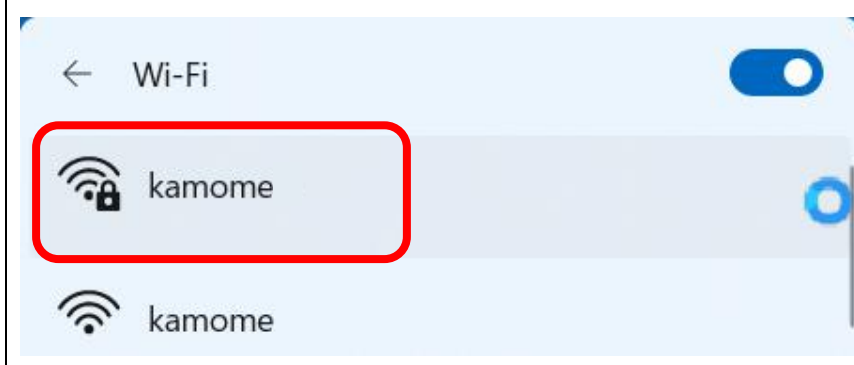


Kamome ワイヤレスネットワークのプロパティの画面に戻ったら、「詳細設定」をクリックします。




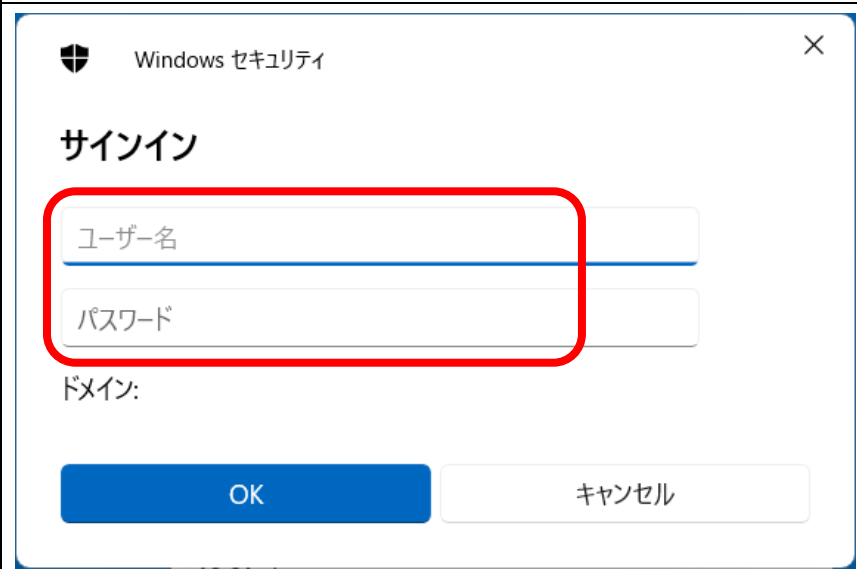

802.1X の設定タブの「認証モードを指定する」で「ユーザー認証」を選択し「OK」をクリックします。

その後の画面では OK をクリックしたりウィンドウを閉じたりしましょう。





Windows 右下のトレイから「Wi-Fi 接続の管理」を開くと接続可能な Wi-Fi が表示されます。


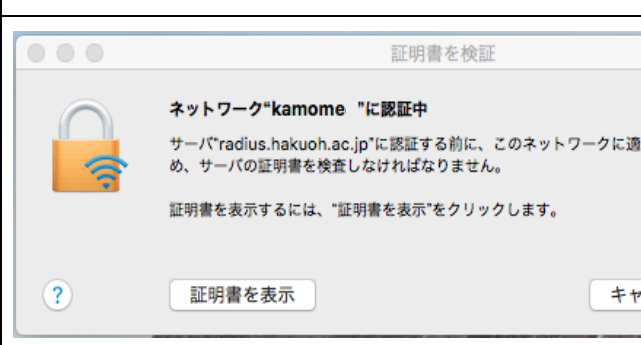
先ほど登録した「kamome」をクリックします。

	<p>「接続」をクリックします。</p> <p>※次回以降、自動的に接続する場合は「自動的に接続」にチェックを入れます。</p>
	<p>サインインのウィンドウが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。</p> <p>パソコンにログインする際のユーザー名とパスワードと同一です。</p> <p>ユーザー名には学籍番号 パスワードはパスワードを それぞれ入力し「OK」をクリックします。</p>
	<p>設定が正しければ「kamome」に接続できます。</p> <p>ルールを守って Wi-Fi をお使いください。</p>

4. iOS の場合

	<p>SSID「kamome」を選択し ユーザ名にはログイン ID を パスワードには学内 PC やポータル、WebClass にログインするパスワードを入力し 「接続」ボタンをタップします。</p>
	<p>証明書のポップアップが表示されるので、右上の「信頼」ボタンをタップします。 ※信頼されていませんと表示されますが、iOS の仕様で公的な証明書を使っているにもかかわらずこのように表示されるので安心してください。</p> <p>これで、Wi-Fi が利用できます。次回以降は Wi-Fi のエリアに近づくと自動的に接続されます。</p>

5. Mac OS の場合

	<p>SSID「kamome」を選択し ユーザ名にはログイン ID を パスワードには学内 PC やポータル、WebClass にログインするパスワードを入力し 「このネットワークを記憶」にチェックを入れ 「接続」ボタンをクリックします。</p>
	<p>証明書を検証のウィンドウが表示されるので「続ける」ボタンをクリックします。</p>

証明書信頼設定に変更を加えようとしています。

許可するにはパスワードを入力してください。

ユーザ名:

パスワード:

キャンセル

使用している端末のユーザ名とパスワード(学籍番号などログイン ID とそのパスワードではありません) を入力し「設定をアップデート」ボタンをクリックします。

これで、Wi-Fi が利用できます。次回以降は Wi-Fi のエリアに近づくと自動的に接続されます。

6. Android OS11 以上の場合

	<p>kamome を選択します。</p>
	<p>以下の通りに設定し「接続」ボタンをタップします。</p> <p>EAP 方式：PEAP フェーズ2 認証：MSCHAPV2 CA 証明書：システム証明書を使用 オンライン証明書ステータス：検証しない ドメイン：radius.hakuoh.ac.jp ID：ログイン ID 匿名 ID は空欄で パスワード：学内 PC やポータル、WebClass にログインするパスワード</p> <p>※Android はメーカーや OS のバージョンによって表示が異なります。</p> <p>これで、Wi-Fi が利用できます。次回以降は Wi-Fi のエリアに近づくと自動的に接続されます。</p>

7. その他

一部 kamome が使えないエリアもあります。ご了承ください。

ご不明な点などありましたら、当センター（本キャンパス6階、TEL：0285-20-8103）までお問い合わせください。

以上